

## 秦野地域（大住郡域）の警察制度の歴史

時代	西暦	秦野の行政機関（主な人物等）	警察制度等
飛鳥	～710	相武国造（弟武彦命）	国造軍（国造の私兵）
奈良平安	～1057	大住郡司（壬生広主）	大住郡軍団（徴兵制） 五保の制（自警組織）
平安院政	～1188	波多野庄荘官（波多野義通）	荘官の私兵
鎌倉	～1333	波多野庄地頭（波多野義景）	地頭の武士団
南北朝	～1393	南波多野庄地頭（波多野高道）	地頭の武士団 惣村・宮座（村の掟、自警組織）
室町	～1552	波多野庄地頭（鶴岡八幡宮ほか）	
戦国	～1590	北条家・中郡代（大藤秀信）	北条家の郡代から掟の通達 惣村・宮座（村の掟、自警組織）
安土桃山	～1603	徳川家・関東郡代（伊奈忠次）	代官等が曾屋など33村の三役任命 村方三役（村の治安責任） 村の五人組（自警組織）
江戸	～1805	韮山代官（江川太郎左衛門） 大名領（米倉丹後守ほか） 旗本領（鶴殿藤助ほか）	
幕末	～1868		関東取締出役（幕府） 曾屋ほか57村寄場組合（自警）
明治元年	1868	豆相監察（安永又吉） 韮山県大参事（柏木忠俊）	最寄探偵掛、懲胡隊※（豆相） 曾屋ほか35村寄場組合（自警）
明治4年	1871	神奈川県及び小田原県 第12、14、18、19、21戸籍区	伊勢原村捕亡屯所（近代警察化） 曾屋ほか34村寄場組合（自警）
明治5年	1872	足柄県 第2大区第3～6小区	金目村捕亡出張所→邏卒屯所
明治9年	1876	神奈川県 第22大区第3～6小区	第10号警察出張所（のち小田原警察 出張所）曾屋巡查屯所（開所）
明治10年	1877		小田原警察署曾屋分署
明治20年	1887	大住洵綾郡長（佐藤喜左衛門） 秦野町ほか6村	大住郡警察署（伊勢原）曾屋分署
明治26年	1893	中郡長（曾根盛鎮） 秦野町ほか6村	大磯警察署秦野分署
大正15年	1926	秦野町ほか6村	秦野警察署（創設）
昭和23年	1948	秦野町、南秦野町 東秦野村、西秦野村 北秦野村、上秦野村 大根村	国家地方警察中西地区警察署 自治体警察秦野町警察署 自治体警察南秦野町警察署
昭和24年	1949		国家地方警察中西地区警察署 組合警察秦野警察署
昭和26年	1951		国家地方警察秦野地区警察署
昭和29年	1954		神奈川県秦野警察署
昭和38年	1963		（桜町に移転）
平成17年	2005	秦野市	（新町に移転）
令和8年	2026		署創設100年、屯所開所150年

※ 神主等による草莽隊。曾屋八幡の宇佐美右京、堀山下八幡の村上式部が参加

【参考文献】秦野市史、神奈川県警察史、平塚市博物館研究報告「自然と文化」早田旅人

R7. 12. 24秦野警察署長作成